

### 第3学年\*組 道徳学習指導案

指導者 \*\* \*\*

- 1 主題名 善悪を判断し、自らの良心に従って行動する態度  
「内容項目 A-1 (1) 自主・自律、自由と責任」
- 2 教材名 「ほんとの気持ち」(自作教材)

#### 3 主題設定の理由

##### (1) ねらいとする道徳的価値について

内容項目A-1は、「自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ」とある。わたしたちが人間として誇りをもって生きていくためには、自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつことが求められる。自己の気高さに気付かせ、何が正しく、何が誤りであることを自ら判断して望ましい行動をとれるようにすることが大切である。

本主題は、小学校第5学年及び第6学年の内容項目1-(3)「自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする」1-(4)「誠実に、明るく楽しく生活する」に関連しており、小学校で培った自主、自律の精神をさらに発展させたものとしていく。

中学3年生となると、自我に目覚め、自主的に考え、行動することができるようになる。しかしその反面、誘惑に負けてしまったり、周囲の思惑を気にして他人の言動に左右されてしまったりすることも少なくない。また、自己中心的な判断をしたり、責任を他人に転嫁したりして、自分自身の行為が自分や他人にどのような結果をもたらすかということを深く考えることができないときもある。

そこで、指導に当たっては、悪を悪としてはっきりとらえ、それを毅然としてしりぞけ善を行おうとする良心の良さに気付かせたい。自分や社会に対して常に誠実でなければならないことを自覚し、人間としての誇りをもった、責任をもとうとする心情を育てたいという願いから、本主題を設定した。

##### (2) 生徒の実態について (計\*名) 調査日(平成30年\*月\*日)

###### 【主題に関する意識調査】

修学旅行であなたが苦手な人が同じグループにいます。  
あなたなら、どうしますか。

###### 【判断面】あなたの行動に最も近いものを選んでください。

- A：普通に声をかける。  
B：誰かと一緒なら会話する。  
C：話しかけない。  
D：嫌そうな顔をする。

###### 【心情面】それはなぜですか。

- ア：相手の立場を考えてその方が良いと思うから。  
イ：その方がいいと思うけれど、自分だけだと声をかけにくいから。  
ウ：良くないと思うけれど、一緒にいたくはないから。  
エ：その方が良いと思うし、一緒にいたくはないから。

|             |   | 判断面 |   |   |   |   |
|-------------|---|-----|---|---|---|---|
|             |   | A   | B | C | D | 計 |
| 心<br>情<br>面 | ア | *   | * | * | * | * |
|             | イ | *   | * | * | * | * |
|             | ウ | *   | * | * | * | * |
|             | エ | *   | * | * | * | * |
|             | 計 | *   | * | * | * | * |

落語家の仕事に対するエピソードなどの教材を用いて A-1(1)自主・自律・自由と責任について学習し、損得の有無に関わらず、自分のやるべきことに最後まで責任を果たし、取り組むという力は育ててきた。しかし、実際は、修学旅行の活動班や生活班を決める際に、自分の思いだけを優先したり、自分の仲の良い人を優先したりして、物事を決める場面が見られた。

さらに、意識調査の結果では、正しい判断よりも自分のやりたいことや誤った判断から、正しい行動を自主的にできない生徒も8人ほど見られた。また、学校生活の中でも、周囲の様子を見て態度を決めたり、自ら関わらないことによって逃げたりとする様子が見られる。

これらのことから、友達の考えに付和雷同せず、正しい判断をし、適切な行動を取る大切さを指導する必要があると考える。また他者に配慮しながらも、自ら責任ある判断ができるようになることが大切だと考える。

(3) 教材の活用について

本教材は、私と2人の生徒が登場する。同じ班の中で、一人浮いているメンバーAがおり、主人公の私がAに声を掛け、一緒に行動した。しかし、そのせいか班長Bは私を避けるようになった。そんなBに何も言えず、私は再びBと元通り仲良くなった。仲良しと過ごしてうれしいはずなのに、私の心はもやもやしているという話である。この教材を活用して、主人公の心情と言動からねらいに迫る。正しいことをしたいと思う自分と、友人との関係を気にしてしまう自分との葛藤に共感させながら、自分ならどう行動するかを考えさせたい。そして、自らを律し、自分や社会に対して常に誠実でなければならないことを自覚し、人間としての誇りをもち、責任をとろうとする心情を育てられるように指導していきたい。

4 学習・その他の活動との有機的な関連

これまでの学校生活で、係活動や委員会活動など様々な役割に責任をもって取り組んできた。しかし、それはだれかに頼まれたことや言われたことがほとんどで、自ら気づき進んで行動することは少ない。自主的に判断し、自らの意思で決定し行動したことに責任をもつ大切さに気づいていけるよう、学級活動や特別活動において、よりよい学校生活を送るための生き方について話し合う活動に関連づけていきたい。

5 本時の指導

(1) ねらい

○周囲の状況や他人の言動に流されず、良心に従って主体的に行動しようとする心情を育てる。

(2) 準備・教材 読み物教材、登場人物イラスト、ワークシート

(3) 本時の指導

|        |         | 学習活動                                | 主な発問と予想される反応   | 指導上の留意点<br>(※評価の視点)  |
|--------|---------|-------------------------------------|--|--|
| 導入     | つかむ     | 1 本時の課題について知る。<br>2 教材「ほんとの気持ち」を読む。 | ○自分の意見があっても、友達の意見に流されてしまったことがあるか。<br>○「ほんとの気持ち」という話を読んで、自主的に考え、判断し、その結果に責任を持つことについて考えてみよう。   | ・自主性についての自分の考えや想起できるようにする。<br>・登場人物のイラストを提示し、状況を確認することで、課題を正しくとらえられるようにする。   |
| 学習指導過程 | 考える・深める | 3 登場人物の気持ちを考える。(GW 3～4人組)           | ○登場人物について、互いの立場や心情を考える。<br><br>○原田さんは、誰とも絡むことはないのは、なぜだろう。<br>・友達がいないから<br>・一人が好きだから<br>・声を掛けてくれるのを待っているから。<br><br>○私が、原田さんに声を掛けるのをやめたのは、なぜだろう。<br>・さえこさんが原田さんと関わろうとしなかったから。<br>・さえこさんに避けられ始めたから。<br>・自分も、原田さんみたいに一人に | ・各グループで分担して、それぞれの登場人物の立場に立って考えさせることで、自我関与を図れるようにする。<br>・原田さんの立場に立って考えることで、自分の弱さを考えさせる。<br><br>・最後まで声を掛けられなかった人間的な弱さに気づけることで、人間理解を深められるようにする。 |

|  |  |  |   |  |
|--|--|--|---|--|
|  |  | <p>4 傍観者としての立場を、考える。(PW→GW)</p> <p>5 責任をもった誠実な行動について考える。</p> | <p>なってしまうと思ったから。</p> <p>○さえこちゃんは、原田さんと関わろうとしなかったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原田さんが、苦手だったから。</li> <li>・原田さんと、けんかしてしまったから。</li> <li>・私を取られた気がするから。</li> </ul> <p>○自分が班長ならば私の行動についてどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分勝手だと思う。</li> <li>・原田さんのことも、さえこちゃんのことにも気にしている。</li> </ul> <p>○6人グループの中で、私・原田さん・さえこちゃん以外の人は、このグループのことを、どう考えているのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分は、楽しめているから気にならない。</li> <li>・みんなでうまくやればいいのにな。</li> <li>・自分たちにできることはないだろうか。</li> <li>・原田さんは、なぜ自分から声を掛けたり、行動したりしないのだろうか。</li> <li>・私は、八方美人だな。</li> </ul> <p>◎周囲の状況や他人の言動に流されず、主体的に行動しようとするよさは、なんだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で決めたことは、最後まで貫き通して、自分を信じて行動することができる。</li> <li>・自分で考え、正しいと思う行動をすることで、役割に対して責任を果たすことができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の苦手な人とのコミュニケーションとの取り方や、一人になる不安から、さえこちゃんの心理を考えることができる。</li> <li>・グループが4人組の時には、4人目の人が班長としての立場について、私、さえこちゃん、原田さんの立場から多角的に判断できるようにする。</li> <li>・自分勝手な思いに気がつかず、傍観者となっている生徒に対し、補助発問などを行い周囲の状況を正しく判断するにはどのようなことに気付けば良いのかを考えさせる。</li> <li>・実際に、物事を決める際には、傍観者としての立場を経験しているため、自分の経験を基に考えられるようにする。</li> </ul> <p>※周囲の状況や他人の言動に流されず、良心に従って主体的に行動しようとするよさについて、自分の意見や考えが書けているか。<br/>(ワークシート)</p> |
|--|--|--|---|--|

|      |                         |                              |   |
|------|-------------------------|------------------------------|---|
| 振り返る | 6 今日の話し合いについて、教師の説話を聞く。 | ○今日の授業での話し合いを通して考えたことを記入しよう。 | ・今日の話し合いで、教師の体験談なども交えながら、価値に迫れた部分や考えが深められた点を認めることで価値の深化を図る。 |
|------|-------------------------|------------------------------|---|

## 6 評価の観点

- 周囲の状況や他人の言動に流されず、良心に従って主体的に行動しようとする心情が育ったか。